

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	9 月	19 日	記入者	鶴田吉範
調査者名	饗庭	垣内	久門	鶴田	

文化財名	結崎のおかげ踊り絵馬				
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input type="checkbox"/> 天然記念物	<input checked="" type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ( )
指定年月日	1987年(昭和62)3月10日				
所在地	磯城郡川西町結崎68				
所有者 管理者	糸井神社				
員数	1面				
時代区分	江戸から明治移行期 1868年(慶応4・明治元)				
樹木の場合	(樹木名)	—		(樹齢)	—
案内板の状況	あり。拝殿右横に絵馬(太鼓踊り、おかげ踊り)の説明板あり(川西町教育委員会)。傷み汚れなし。				
公開	拝殿の中に飾られており、観覧は糸井神社宮司の拝殿扉の解錠が必要。				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足(拝殿中の保管で、風雨は防げるが絵馬自体の状態は悪い)				
当面の課題	拝殿中での保管であり、速やかに対応すべき課題は無い。				
今後の課題	奉納された絵馬としての現状保管に課題はないが、絵馬を絵画と捉えた場合絵具の剥落などが顕著で金箔等も剥れてしまっている。補修の問題、温度、湿気など保管環境の課題が先に発生すると思われる。				
その他 (由緒など)	「江戸時代に始まった民衆が伊勢へ群衆した『おかげ参り』に発する絵馬で、おかげ参りから派生し幕末に流行した『ええじゃないか』の様子が描かれているとも言われている」(川西町教育委員会案内版及び結崎自治会案内版)				
コメント	県指定前に拝殿掃除の際に絵馬のホコリをはたいたため、もう一つの太鼓踊り絵馬に比べて絵具が剥落しているのは残念。太鼓踊り絵馬のような当時の風俗が描かれているわけではないが、右側のお囃子に合わせて民衆が踊る姿が生きいきと描かれている。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2020年	9月	19日	記入者	鶴田吉範
調査者名	饗庭	垣内	久門	鶴田	

文化財名	結崎のおかげ踊り絵馬
------	------------

おかげ踊り絵馬(拝殿内)



絵馬の説明版(川西町教育委員会)



糸井神社の説明板



川西町 町 村の歴史 大字結崎の説明板



絵馬がある拝殿



糸井神社正面

